

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年3月26日(2020.3.26)

【公開番号】特開2018-164793(P2018-164793A)

【公開日】平成30年10月25日(2018.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2018-041

【出願番号】特願2018-145486(P2018-145486)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月10日(2020.2.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

音演出を実行可能な音演出手段と、

光演出を実行可能な光演出手段と、

前記音演出手段による音演出を実行制御する音演出制御手段と、

前記光演出手段による光演出を実行制御する光演出制御手段と、を備える遊技機であつて、

前記音演出には特定楽曲を用いる特定音演出が含まれ、

前記特定音演出には、前記特定楽曲の第1部分から始まる第1特定音演出と、前記第1部分とは異なる第2部分から始まる第2特定音演出とが含まれ、

前記音演出制御手段は、

前記第1特定音演出を実行する場合、第1音量で実行可能とし、

前記第2特定音演出を実行する場合、前記第1音量よりも大きい第2音量で実行可能に構成された、

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記音演出制御手段は、

前記第1特定音演出を実行する場合、第1音源を用い、

前記第2特定音演出を実行する場合、前記第1音源とは異なる第2音源を用いる、

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記光演出制御手段は、

前記第1特定音演出実行中に、前記光演出を第1態様で実行可能であり、

前記第2特定音演出実行中に、前記光演出を前記第1態様とは異なる第2態様で実行可能である、

ことを特徴とする請求項1または2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、上記遊技機では、BGMの切替えによりスピーカやランプの演出態様が変化した際に、遊技者に不快感を与える恐れがある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで本発明の目的は、上記課題を解決し、演出の変化により遊技者が受ける不快感を防止しうる遊技機を提供することにある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によれば、演出の変化により遊技者が受ける不快感を防止し得る。